



平成29年 2月21日(火)例会 (第2662回) 報告(晴) No.2490

出席率……32/43 74.42% 第2660回補正出席率……37/43 86.05%

来訪者(米子RC)大原(米子東RC)内田、佐田山(松江東RC)勝部

欠席者 岡田、門永、小板、友森、中田、浜田(一)、浜田(貴)、堀田、松本(勝)、村山、渡辺(昇)

メイクアップ(G定例会)14名(少女バレー)16名

出席免除 足立、川端、坂本、庄司、渡邊(将)

◆会長時間 松本 正 会長

今日は境港海陸運送さんの会議室をお借りしての例会です。広々して眺めも良く素敵な事務所です。高浪さんお世話になります。

確定申告の時期がやって来ました。皆様、自分でやっていますか、それとも税理士さんをお願いしていますか?僕は自分でやっていますがとても面倒です。給与、配当、不動産収入、株の譲渡益等の申告があり、更に生保、損保の控除、ロータリーの寄付金の控除、医療費の控除等の書類や領収書集めが大変です。最後に税額を計算して源泉徴収された分との差額が還ってくるのは嬉しいですが、ここが盲点で、いったい幾ら税金を払ったのかという意識がありません。市民税、県民税も所得税の1.3倍位の額で結構大きいです。3月15日が期限です。正しい納税を行いましょう。

◆幹事報告 細田 淑人 幹事

- ◎庄司G事務所より「2017-18年度地区Gノミネー候補者について」「米山奨学生世話クラブとカウンセラーのお願い」◎池上Gエレクト事務所より「2016年規定審議会最新情報」「地区協ご案内と部門別アンケート」◎米子南RCより「第2G新旧会長幹事会日程のお伺い」◎出雲南RCより「第40回IAC地区大会報告書」◎米山奨学会より「ハイライトよねやま第203号」◎広報誌「だいせん第621号」「飢餓対策ニュース2月号」が届く

◆定例理事会報告 細田 淑人 幹事

- 【議題】①第2回家庭集会事業案→承認 ②RYLA参加者募集→地区内の応募状況を見て後日検討 ③2017-18年度地区補助金事業→申請を行なう方向で検討 ④第32回中海野球・第23回女子バレー大会事業案→承認 ⑤財団100周年チャリティーコンサート事業案→承認(引き続き要検討)【報告】2016年規定審議会の最新情報が届く

◆例会変更(受付=ビジター受付、定刻・米子全日空H)

☆米子中央RC 2/23(木) 夜間例会 受付あり

◆3月行事予定(水と衛生月間)

- 3/4,5(土日) 会長エレクト研修セミナー・PETS(倉敷市)
- 7(火) 定例理事会
- 19(日) 地区青少年育成プログラム・RYLA(境港市)

— スマイルBOX —

◎出席表彰 高浪 ◎伊木さんをお迎えして 内田、酒井(博) ◎海陸運送様、高浪さん、本日はお世話になります。松本(正)、木村、北國、増谷 ◎例会場のご提供ありがとうございます 三輪 ◎毎回ここでしたいですね 川田 ◎スマイルに協力 小林、松本(雄)

出席表彰

連続1年 小板勇次 高浪秀紀  
3年 庄司尚史

各会員



高浪会員

◆委員会報告

◎青少年奉仕委員会…内田幸二 委員長

本日17:30~少女バレー交流戦。多数ご参加下さい。

— プログラム「これからの街づくりについて」 —

伊木会計事務所 代表 伊木隆司 氏

私はこれまで21年間、公認会計士として、また、15年前に米子で独立開業してからは税理士として地元企業の財務のご相談など、いろいろな仕事をしてきました。そうした仕事の傍ら、鳥取県の監査委員を8年間務めるなど、行政に係る仕事も行って来ました。



米子市が抱える大きな課題の一つに、米子ICと境港を結ぶ高速道路の問題があります。これから先、境港の岸壁が増強されることを受けて、港と高速道路を結ぶ陸路の整備が必要になってくるのです。これは、港の機能を活かすために必要な事業です。この道路をどういうルートで設置するか、これが大きな課題になります。予算については国からの支援でやっていただくとしても、どういうルートで港と米子ICを結ぶのかという点については、複数のルート案に一長一短があり、これを議論していかないとはいけません。結論に至るまでには紆余曲折が予想されますが、米子市がリーダーシップを発揮して実現に向けて動き出すときが来ていると思います。

鳥取県西部という地域は、いろいろな可能性がある地域だと思っています。恵まれた自然を活かした観光や豊富な水源を活かした工業の発展など、埋もれたままの魅力がまだあると思っています。空港があり港があり、そして道路整備が整えば、こうした魅力をより一層、引き出すことが可能になります。そのためにインフラ投資に向けて行政が先鞭を付けなければなりません。外から見て、この地域の利便性が高く発展の余地が大きいことに気付いてもらうことが、民間投資を誘引します。そのために必要なインフラをいかに整備していくかがこれからの街づくりに必要な視点です。

地域で連携して、鳥取県西部地区を、そして中海・宍道湖・大山圏域を西日本の中心的なエリアに育て上げていきたいと強く思います。そのためには、国や県とも十分に連携をとりながらこうした構想を育て、実現していきたいと思います。最後になりますが、境港ロータリークラブの皆様のますますのご健勝を祈念いたします。

今回(2月28日)プログラム

「カナダの文化」

境港市立第一中学校 ALT メーガン・スーン 氏

次回(3月7日)プログラム

「青く燃える」

(一社)境港青年会議所 理事長 遠藤大輔 氏